

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<49週> 感染性胃腸炎 - 前週から今週にかけて患者数が急増 /
その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<感染性胃腸炎> 2000年冬季の流行は45週以降患者が急増して
いる



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - SRSV
およびロタウイルス検出報告



速報
P.6-7

今シーズンにおけるB型インフルエンザウイルスの初分離例 - 静
岡県 / 他



海外感染症情報
P.8-9

エイズサーベイランス - 世界の流行状況 / メキシコから戻った旅
行者におけるコクシジオイデス症 米国



感染症の話
P.10-12

腸炎ビブリオ感染症
8月を発生のピークとして7～9月に多発
する細菌性食中毒の主要原因菌の一つ
である



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(49週)
P.14-20



49週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第49週コメント 12月14日集計分

全数報告の感染症

1類感染症：報告なし

2類感染症：細菌性赤痢12例(推定感染地：国内1例、インド5例、カンボジア、中国、タイ、インドネシア、インド・ネパール他各1例、不明1例)

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症37例

4類感染症：アメーバ赤痢3例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(と共に孤発性)、ツツガムシ病20例、破傷風1例、レジオネラ症8例。

ツツガムシ病は11例が宮崎県からの報告であった。ツツガムシ病の診断は血清学的診断によることが多いと考えられ、その結果報告が1~2週遅れるものが相当数見られる。それらの報告遅れも含めここ数週間で見ると、今週報告が多かった宮崎県をはじめ、鹿児島県、千葉県、岐阜県なども患者報告が多い。

急性ウイルス性肝炎2例

A型1例

B型1例__感染経路不明

後天性免疫不全症候群6例(無症候性キャリア5例、AIDS1例)

感染経路__性行為感染5例(異性間4例、同性間/異性間1例)、不明1例

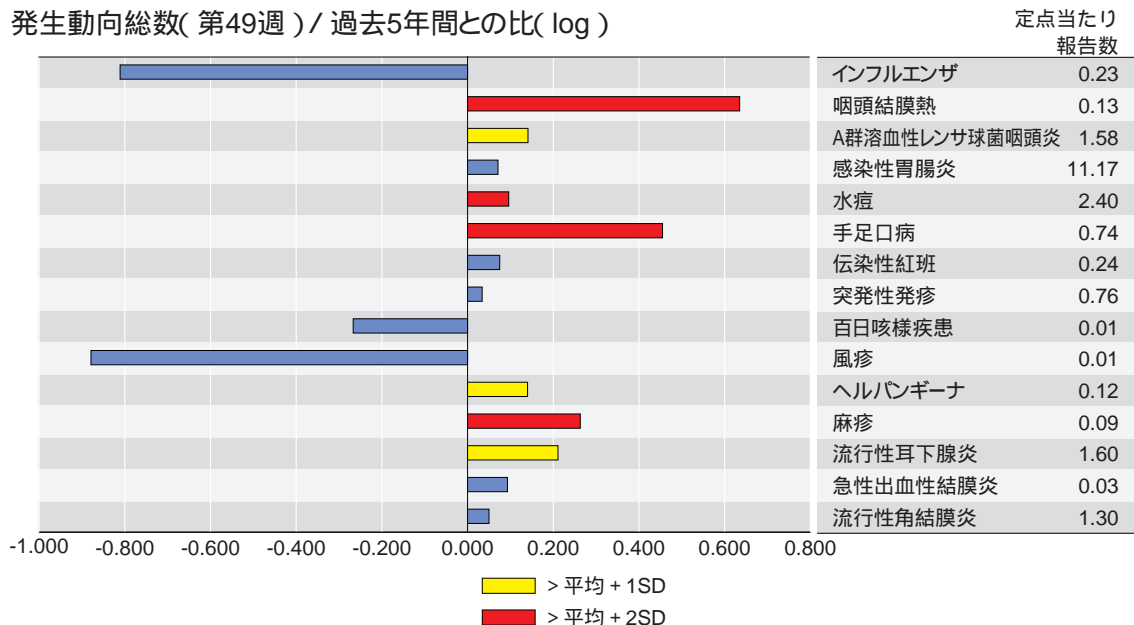
梅毒6例(早期顕症3例、晩期顕症0例、無症候3例、先天梅毒0例)

マラリア1例(三日熱マラリア__推定感染地：インドネシア)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっており、山形県で定点当たり報告数6.7、新潟県で4.7、福井県で4.5、青森県で4.6、長野県で4.2の報告がある。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、例年の同時期に比べやや多くなっている。麻疹は例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかなり多くなっており、高知県、奈良県、北海道などで患者報告数が多くなっている。感染性胃腸炎は前週から今週にかけて患者数が急増し、1999、1995年に次ぐ定点当たり報告数となっており、とくに宮城県、山形県、山口県、福岡県では定点当たり報告数が20を超えている(感染性胃腸炎の病原体については5ページ病原体情報参照)。インフルエンザの活動性はまだまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.23となっているが、埼玉県で他の都道府県より定点当たり報告数が多くなっている。咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなど、通常夏季に流行する疾患の定点当たり報告数が例年に比べて多く、とくに咽頭結膜熱は定点当たり患者報告数が第43週以降増加傾向にあり、シーズンオフの流行曲線としては過去10年間で最大となっている(14ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり4.0と報告が多くなっている。

発生動向総数(第49週) / 過去5年間との比(log)

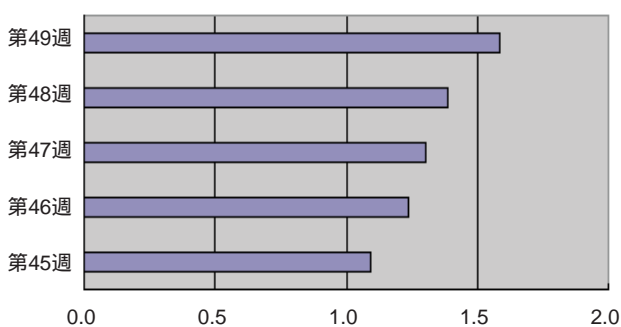


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

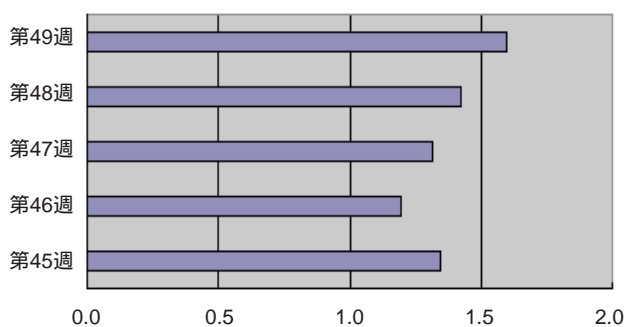
最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は依然定点当たり患者数が増加傾向を示している。流行性耳下腺炎は3週続けて定点当たり報告数が増加しており、冬季の流行としては過去10年間で最大となっている。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はこのところ大きな増減はない。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にあったが、今週の定点当たり報告数は前週とほぼ同じである。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、緩やかな増加傾向を示している。

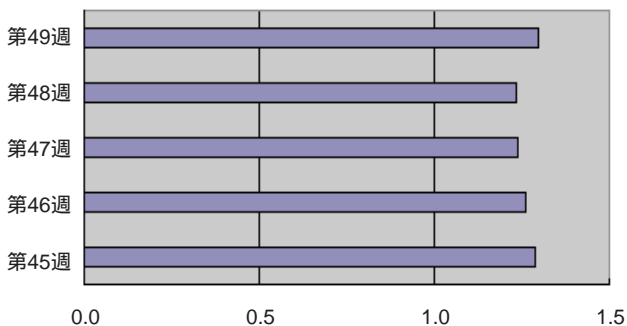
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



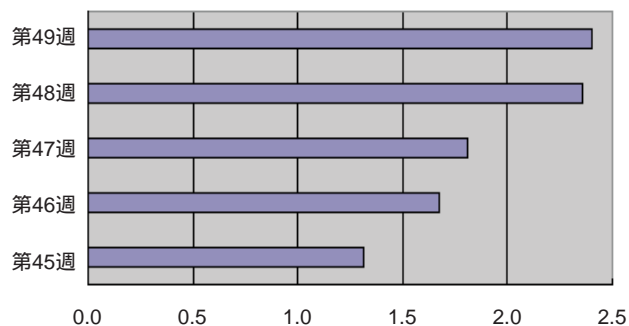
流行性耳下腺炎



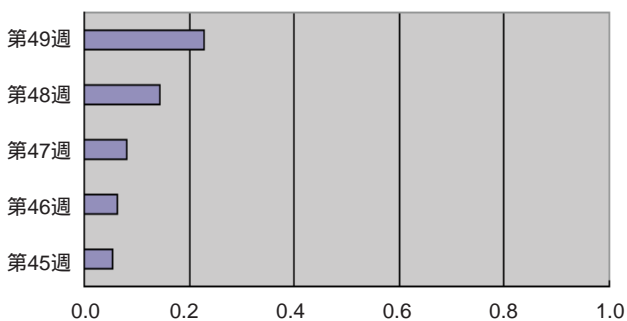
流行性角結膜炎



水痘



インフルエンザ



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



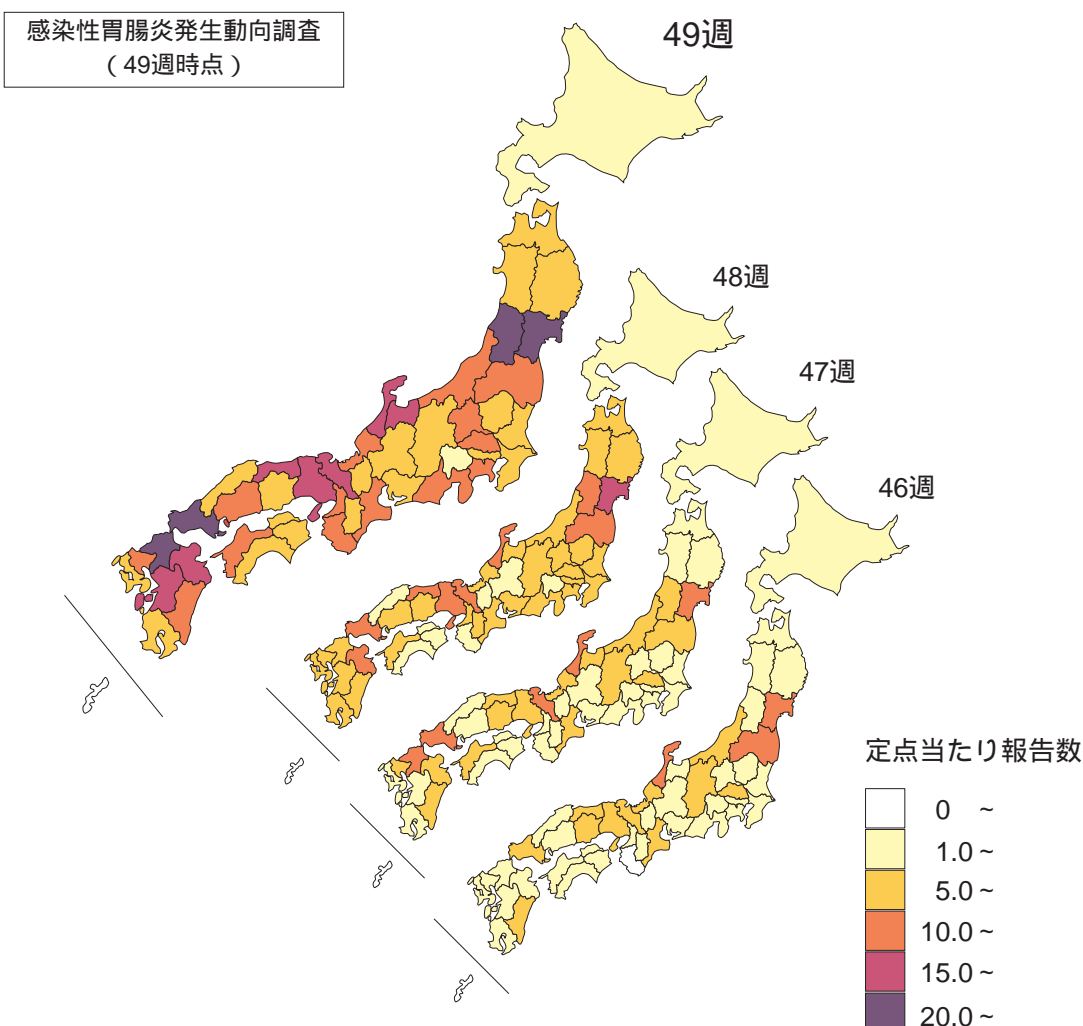
注目すべき感染症

感染性胃腸炎流行状況

感染性胃腸炎のサーベイランスは、感染性を疑う急性の嘔吐・下痢を対象とするいわゆる症候群サーベイランスである。病原体は多岐にわたり、診断の際必ずしも病原体の特定は必要ではない。

感染性胃腸炎は小児科定点からの報告疾患であり、冬季に報告数が増加する。流行曲線(15ページグラフ総覧、感染性胃腸炎参照)はSRSVやロタウイルスの検出報告数の動きとよく一致し、これらのウイルスが冬季の感染性胃腸炎の主要病原体である。

2000年冬季の流行は第42週頃より徐々に定点当たり患者報告数が増加し始め、45週以降患者が急増している。とくに第48週から49週にかけての定点当たり報告数の増加は著しく、第49週の全国定点からの報告総数は33,389で、平均の定点当たり報告数は11.17となっており、例年の平均よりやや多い。報告が多くなっているのは、福岡県(定点当たり報告数23.3)、山形県(21.5)、山口県(21.2)、宮城県(20.9)などである(下図参照)。患者の年齢を見ると、1歳で最も多く、1歳～5歳までの年齢階級で全体の約6割を占める(感染性胃腸炎の患者から検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照)。





病原体情報

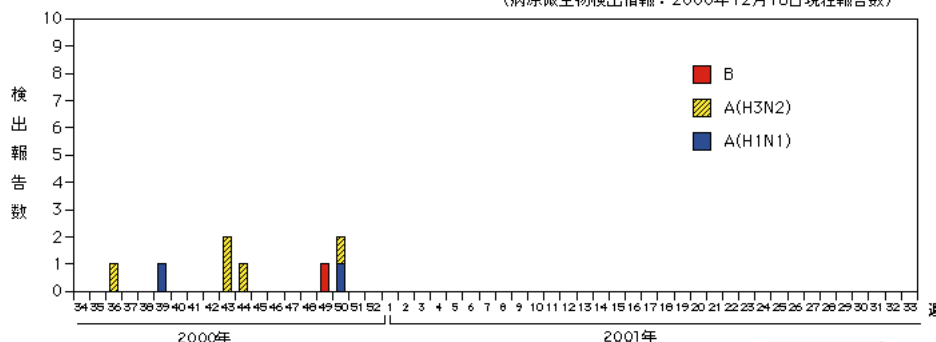
(2000年12月18日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離・検出は、A/香港(H3N2)型が広島県(第36週)1件の分離、愛知県3件(第43、44週)の検出、大阪府(第50週)1件の分離、A/ソ連(H1N1未同定)型が横浜市(第39週)1件の検出、静岡県1件(第50週)の分離、B型は静岡県(第49週)1件の分離が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報: 2000年12月18日現在報告数)



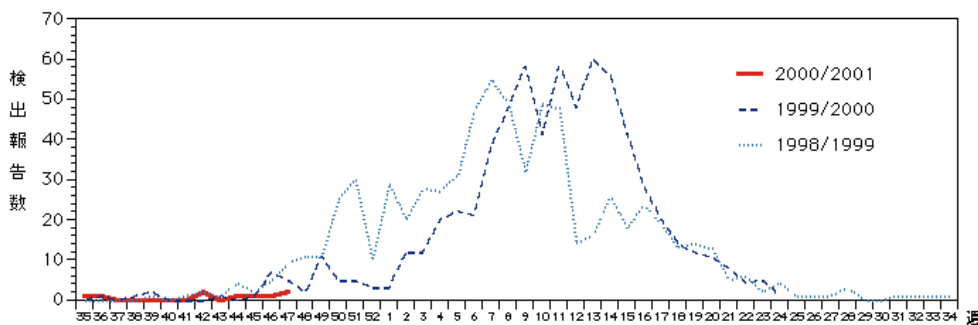
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



感染性胃腸炎 2000/2001シーズン SRSVおよびロタウイルス検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は、新潟県、大阪府各2件、岩手県、山梨県、愛知県、大阪府、岡山県各1件が報告され、またSRSVの検出は、新潟県12件(第49週に1件)、栃木県8件、北九州市5件、岡山県3件、石川県1件が報告されている。

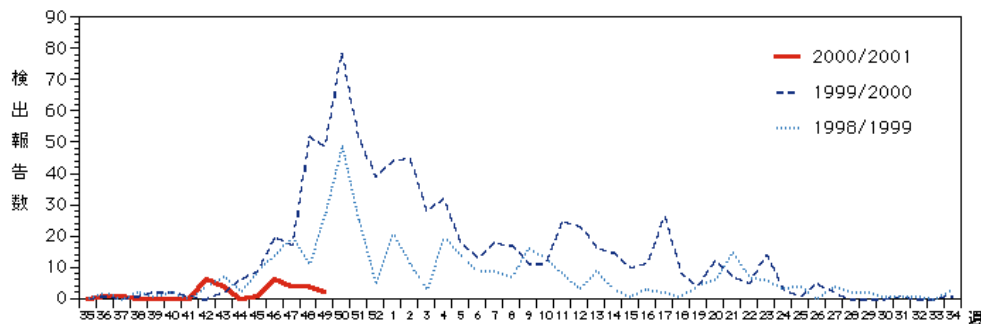
週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2000年12月18日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2000年12月18日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





今シーズンにおけるB型インフルエンザウイルスの初分離例 - 静岡県

症例は7歳男児で、発熱(39.0℃) 上気道炎を主訴とし、2000年12月6日に市立島田市民病院を受診した。病院検査室で実施したA型およびB型ウイルス抗原検出検査(インフルエンザOIA)で陽性を示した。感染症発生動向調査により当研究所に搬入された鼻汁をMDCK細胞に接種したところ、培養4日目に細胞変性効果(CPE)が観察され、培養上清のシチメンチョウ赤血球に対するHA価は128を示した。MDCK2代培養上清を抗原として、感染研分与の2000/01シーズン用検査キットを用いてHI試験を行った結果、HI価はB/Yamagata(山形)Y16/88系統のB/Yamanashi(山梨)Y166/98抗体(ホモ価640)に対して80、B/Victoria/2/87系統のB/Shangdong(山東)Y7/97抗体(ホモ価80)に対して<10を示したことから、分離株はB/Yamagata(山形)Y16/88系統のB型インフルエンザウイルスと同定された。

島田市内では、本年8月にもオーストラリア旅行後の5歳女児から同系統のB型インフルエンザウイルスが分離されており、本分離株との関係が注目される。

静岡県環境衛生科学研究所 佐原啓二 長岡宏美 杉枝正明 秋山真人
市立島田市民病院 後藤幹生

(IASR 2001年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

手足口病の流行について - 福岡市

全国的に手足口病発生の報告があるが、当市においても流行が見られた。

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会によると県内の手足口病患者数は4月頃から増加し、第28週で1定点あたり12.2人まで増加したのをピークに減少している。

感染症発生動向調査に基づく手足口病の検査依頼は、2000年4月10日～10月27日までに計58名78検体(咽頭ぬぐい液47検体、うがい液7検体、糞便16検体、髄液8検体)であった。これらのうち19名20検体(咽頭ぬぐい液12検体、うがい液2検体、糞便6検体)からエンテロウイルス71型(EV71)が分離された。手足口病以外では急性小脳失調症患者の糞便からEV71が1株分離された。

CaCo-2、RD-18S、HEp-2、BGM細胞等を用い、EV71は主にCaCo-2、RD-18S細胞で分離同定された。

その他に手足口病の検体からはエコーウイルス25型2株、エコーウイルス9型1株、アデノウイルス2型2株、コクサッキーウイルスA6型1株が分離された。現在分離・同定中のものもあり、若干分離数は追加されるものと思われる。

また、今回手足口病と診断され死亡した患者(1名)からEV71が分離されたのでその概要について報告する。

概要: 症例は2歳2カ月の男児。2000(平成12)年7月1日より高熱、嘔吐、2日より手足の発疹が

出現。3日近医初診、WBC 13,300、CRP 5.4mg/dl、咽頭発赤、扁桃腫大もあり、輸液とABPC坐剤の処方を受けた。4日に症状続いたため再診、WBC 14,900、CRP 2.5mg/dl、GOT 40IU/l、GPT 10IU/l、LDH 698IU/l、CPK 198IU/l、血糖40mg/dl、胸部X線写真で肺炎像なく、CTR45%、心電図では洞性頻脈、心エコーで心筋の動き悪く、心筋炎が疑われた。陥没呼吸、傾眠傾向となり、救急車で搬送中に心停止、挿管となり、18:14福岡市立こども病院・感染症センターへ入院。モニター上完全AVブロックあり、救命治療とともに心臓カテーテルによる一時ペーシングを行うも全く反応せず、19:32死亡された。

意識が比較的保たれている時点で、チアノーゼが出現し、心エコー所見、ペーシングにも反応しないなどから心筋炎を疑った。しかし、発症時にCPKの上昇や、心拡大がなかった。EV71感染症では中枢神経系の合併症が大部分で、心筋炎が疑われても最終的には脳炎であった例が報告されており、脳炎および脳幹障害からの循環器障害も考えられる。剖検所見が得られておらず、最終診断には至らなかった。

入院時の検体(咽頭ぬぐい液、糞便)からEV71が分離され、この株は国立感染症研究所のシーケンス解析によりgenotype A-2であることがわかった。

福岡市保健環境研究所微生物課 馬場純一 宮代 守 波呂美加
福岡市立こども病院・感染症センター 青木知信 牛ノ濱大也

(IASR12月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.12, 2000 P.14-15)



海外感染症情報

エイズサーベイランス 世界の流行状況

WHO/WER 2000年11月24日

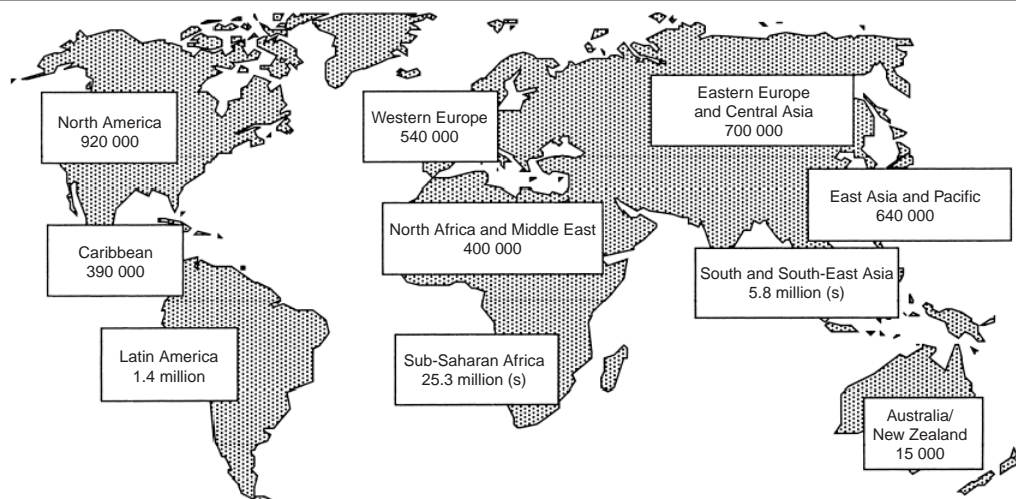
WHOとUNAIDSは2000年の終わりまでに、HIV感染者及びAIDS患者数が全世界で3,610万人に達すると見積もっている(Map 1)。また2000年中に、530万人(15歳未満の60万人の子供を含む)が感染した。HIV感染はほとんど男女同じ割合で広がっており、15～49歳の男性の1,820万人がHIV/AIDSと見積もられている。

流行が始まってから2000年の終わりまでに、HIV/AIDSが原因で合計2,180万人の成人や子供が死亡すると見積もられている。HIVによる死亡率は増加しており、2000年の1年間で300万人が死亡するとされている。女性の死亡者数も増加しており、2000年のHIVによる成人の死亡者の52%と見積もられている。

2000年の11月25日までに、2,312,860人のAIDS患者がWHOに公式に報告された。1999年11月からAIDS患者111,399人が増加しており、発展途上国、特にサハラ以南アフリカの国から報告される新規の患者数は増加しているのに対し、先進国での新規のAIDS患者は減少している。2000年の1年間で81,000人以上のAIDS患者がサハラ以南アフリカの15カ国以上から報告されており、地域としては累計数が10%の増加となった。AIDS患者が報告される割合は国によって異なるので、患者数から得られる情報を注意深く判断するべきである。

HIV/AIDSは世界の全ての地域に広がり続けている。サハラ以南アフリカでの新たな感染者が減少しているように見えるが、AIDSの罹患率と死亡率の増加が相殺しあっているからである。多くのアフリカの国は経済的・人的損失を含んだ流行の大きな打撃を経験している。HIV感染の流行は東ヨーロッパで、麻薬注射常用者で発生し続けている。抗HIV療法のおかげで生存期間が長くなり、またより健康に生きることができるHIV陽性の人数が増加している。

Map 1. Estimated number of adults and children living with HIV/AIDS as of end 2000, ^a by region



^a Global total: 36.1 million (may not add due to rounding).

¹ Part II will appear in No. 48 of 1 December 2000.

(WHO/Weekly epidemiological record, No. 47, 2000, 75, 377-384より)

メキシコから戻った旅行者におけるコクシジオイデス症 米国

CDC/MMWR 2000年11月10日

2000年1月24日、ペンシルバニアの2つの町から参加した35人の教会のメンバーがメキシコの Hermosilloに旅行し、教会を建設するために1週間滞在した。2週間以内に帰宅したが、27人の旅行者がインフルエンザに似た症状を訴え、CDCによる急性期の血清標本の最初の検査が行われ、1人の旅行者から *Coccidioides immitis* の抗体が発見された。

調査に協力した30人のうち29人(97%)は男性で、年齢の中間値は45歳であった(18～62歳)。23人(77%)はメキシコ国内か、帰宅してから3週間以内に発病したと報告された。血清学的な検査から8人(27%)がコクシジオイデス症と認定され、そのうち7人は症状を認めた。症状は倦怠感、発熱、関節痛、筋肉痛(それぞれ71%)であった。3人に発疹、4人に咳が見られた。症状のあった23人のうち18人(78%)が医療機関を受診した。12人(67%)は胸部エックス線写真が撮られ、6人に異常所見が見られた。18人のうち11人は対症的に薬が処方され、6人はコクシジオイデス症の流行が発生判明後にフルコナゾールかイトラコナゾールを処方された。1人はICUに1日入院した。23人の患者のうち11人(48%)は仕事か学校を平均5.5日休んだ。

コクシジオイデス症は *C. immitis* が原因で引き起こされる真菌による疾病で、アメリカ合衆国の南西部と中央・南アメリカの一部で風土病となっている。コクシジオイデス症の流行は埃、自然災害、発掘現場の *C. immitis* の分節型分生子に感受性のある人間が曝露された時起こる。

播種性コクシジオイデス症の危険因子としては、黒人、アジア人、妊婦及び免疫不全の人(例えばエイズ)があげられており、重症の肺コクシジオイデス症の危険因子としては、糖尿病、喫煙及び高齢者が含まれている。



感染症の話

腸炎ビブリオ感染症

1950年10月、大阪南部で発生した“シラス干し”による患者272名、死者20名という大規模食中毒の原因菌として腸炎ビブリオが初めて分離された。腸炎ビブリオによる食中毒の原因食品は魚介類がほとんどである。現在でも8月を発生のピークとして7～9月に多発する細菌性食中毒の主要原因菌の一つである。ここ数年はこれまで国内で主流であった菌型から新しい菌型への変化が見られ、急増の様相を呈してきている。

疫学

1980年代前半までは細菌性食中毒のおよそ半数を占め、発生数並びに患者数とも常にトップであったが、1980年代後半からは減少傾向であった。ところが1992～3年頃を下限として急増に転じ、1997～8年には発生数で、1998年には患者数でも最近同じく急増しているサルモネラ症を上回った(2000年第48号掲載、感染症の話「サルモネラ感染症」図1参照)。原因食品としては、判明しているもののほとんどが魚介類およびその加工品である。加熱加工したものが汚染した水や器具によって二次汚染していたと考えられる例もある。

腸炎ビブリオは菌体表面抗原であるO抗原によって1～11(12、13は検討中)に、また莢膜抗原であるK抗原によって1～75(7つの欠番がある)に型別される。以前には血清型O4:K8がこれまでの主流であったが、1992～3年以降はこれに代わってO3:K6が急増し、腸炎ビブリオ食中毒全体の発生急増の原因と考えられる(図1)。同時期インドやタイ等の東南アジア、あるいは米国や韓国でも同型菌の流行が起こっており、このO3:K6型菌が世界的に流行していることをうかがわせる。パルスフィールド電気泳動(PFGE)法による遺伝子型を比較しても、各国で発生しているものは極めてよく似たパターンを示し、同一クローンである可能性を示唆している(図2)。1998年に

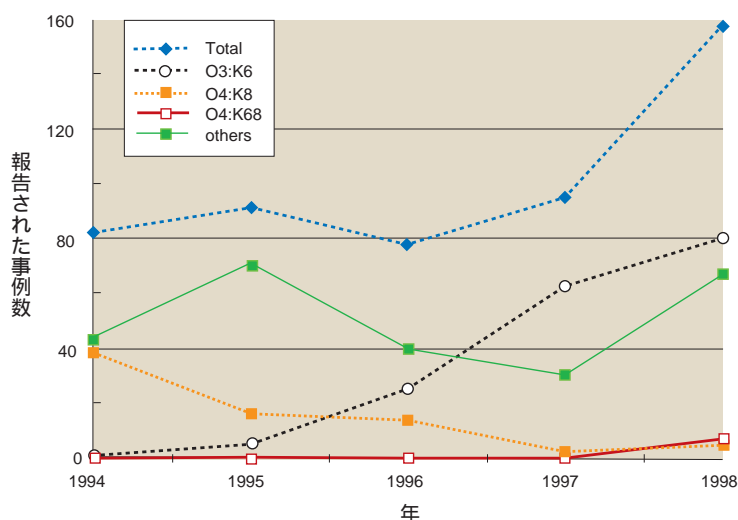


図1. 腸炎ビブリオ血清型の推移 (1994-1998)
(病原微生物検出情報「流行・集団発生情報」患者発生数10名以上の事例より)

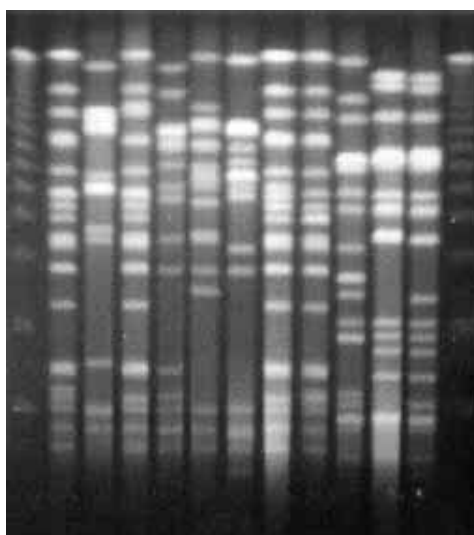
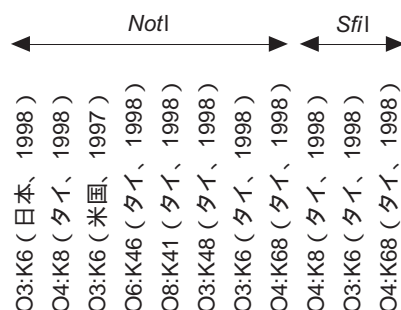
は新しい血清型O4:K68が東南アジア各地および国内で検出された。OあるいはK抗原が異なればPFGEのパターンにも差異が認められるが、このO4:K68は近年流行のO3:K6と非常によく似たPFGEパターンを示し、遺伝的に類似度が高いことが示唆される。その起源とともに今後の動向が注目される(図2)。

病原体

腸炎ビブリオの学名は *Vibrio parahaemolyticus* で、コレラ菌と同じビブリオ属菌である。コレラ菌のようにソラマメ様に湾曲はしていないが、一端に1本の鞭毛をもって活発に運動する短桿菌である。幼若培養菌では周毛を形成する(図3)。好塩性があり、3%食塩濃度で最もよく発育し、栄養、温度などの条件がそろえば、8～9分で分裂し増殖する。逆に10以下では発育せず、熱にも弱く、煮沸すれば瞬時に死滅する。最近腸炎ビブリオやコレラ菌の染色体が、環状ではあるけれども一般の細菌のように1本ではなく、大小2本あることが発見された。染色体のサイズを小さくすることで、増殖速度を速めているものと考えられている。病原因子として耐熱性溶血毒(TDH)およびその類似溶血毒(TRH)という蛋白質性溶血毒があり、TDHによって起こる溶血性を神奈川現象と呼ぶ。TDH、TRHともに小さい方の染色体にコードされている。

臨床症状

潜伏期間は12時間前後で、主症状としては堪え難い腹痛があり、水様性や粘液性の下痢がみられる。血便のみられることもまれにある。下痢は日に数回から多いときで十数回で、しばしば発熱(37～8)や嘔吐、吐き気がみられる。下痢などの主症状は一両日中に軽快し、回復する。高齢者では低血圧、心電図異常などがみられることもあり、脱水によると思われる死亡例もある。



(:ラムダラダーマーカー)

図2. 腸炎ビブリオ分離株のPFGEパターン

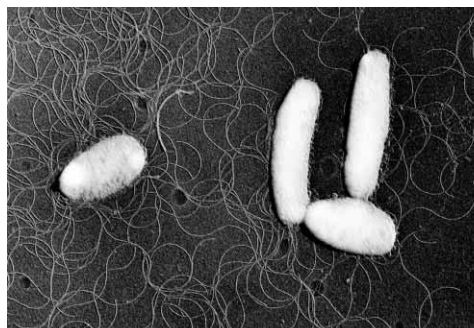
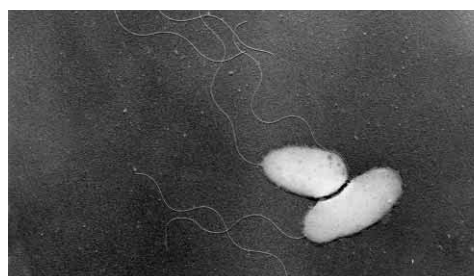


図3. 腸炎ビブリオの電子顕微鏡写真 (20,000倍、パラジウムによるシャドウイング法) 上: 波上の長い単毛。 下: 周毛。単毛よりも波状が短く、細い。

病原診断

できる限り抗生物質投与前に、排便直後の新鮮便の一部を直接TCBS寒天培地に塗抹し、37℃ 一夜培養する。腸炎ビブリオはTCBS寒天培地上に、白糖非分解性の中心部が濃緑色ないし青緑色の集落を形成する(図4)。腸炎ビブリオを疑われる集落はさらに各確認培地に接種し、その性状を調べ同定する。その最小限の性状は(オキシダーゼ・リシン脱炭酸・インドール・ブドウ糖の発酵・マンニットの分解・3および8%NaCl加ブロスでの発育)陽性、(ブドウ糖からのガス産生・白糖の分解・0および10%NaCl加ブロスでの発育)陰性である。同定された菌株は、O、K抗原を調べて血清型を決定する。必要に応じて、*tdh*、*trh* 遺伝子を調べる。

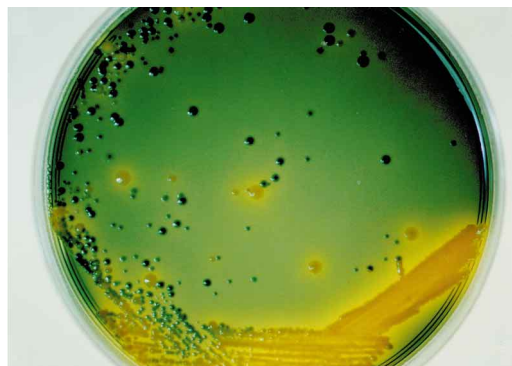


図4 . *Vibrio parahaemolyticus* のTCBS寒天上の集落

青緑色の大きい集落(直径2mm強):

Vibrio parahaemolyticus

黄色の大きいムコイド集落: *Vibrio alginolyticus*

黄色の小さい集落: *Vibrio cholerae*

青緑色の小さい集落(直径約1mm): *Vibrio mimicus*

Vibrio mimicus はTCBS寒天上で *Vibrio parahaemolyticus* の集落よりもかなり小さいが同じ青緑色の集落を形成する。

治療・予防

感染性胃腸炎の治療は対症療法が優先され、腸炎ビブリオに対しては特に抗菌薬治療を行わなくても数日で回復する。蠕動抑制をするような強力な止瀉薬は菌の体外排除を遅らせるので使用しない。下痢による脱水症状に対しては輸液を行う。解熱薬は脱水を増悪させることがあり、またニューキノロン剤と併用できないものがあるので慎重に選択すべきである。病原体の定着阻止を目的に、乳酸菌などの生菌整腸剤を使用する。抗菌薬を使用する場合は、ニューキノロン剤あるいはホスホマイシンを3日間投与する。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

発生動向調査について

腸炎ビブリオは、感染症法では4類感染症(定点把握疾患)として規定されている「感染性胃腸炎」の起病病原体の一つである。感染性胃腸炎は、都道府県知事から指定された約3,000の小児科定点となった病院あるいは診療所より週単位で報告される。

(国立感染症研究所細菌部 荒川英二 島田俊雄)



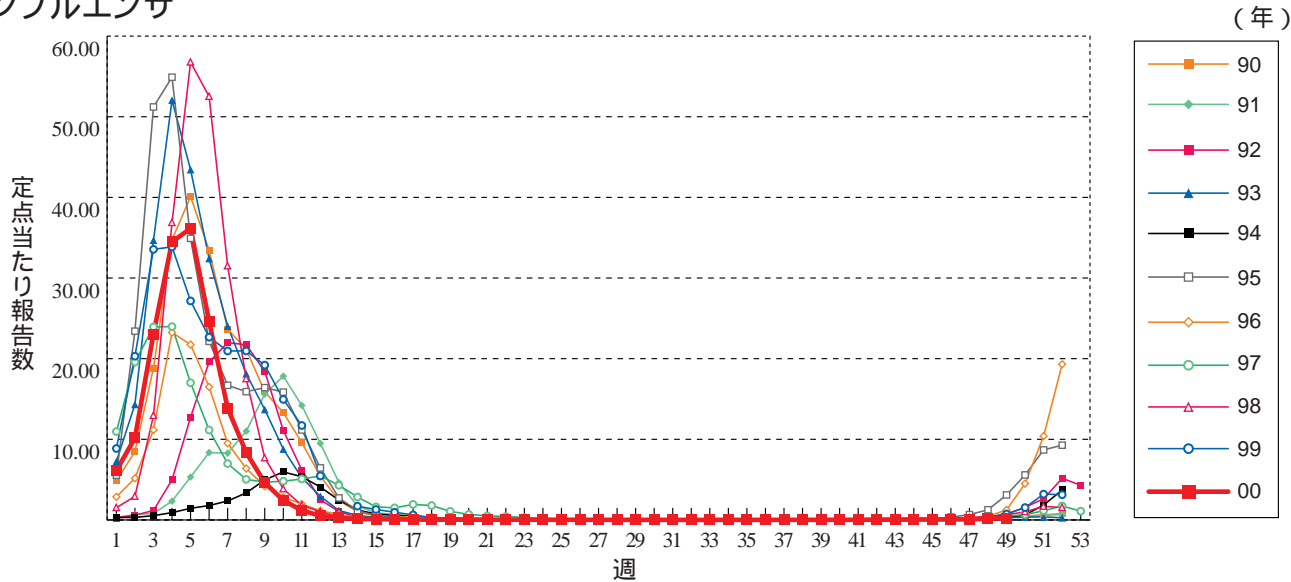
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

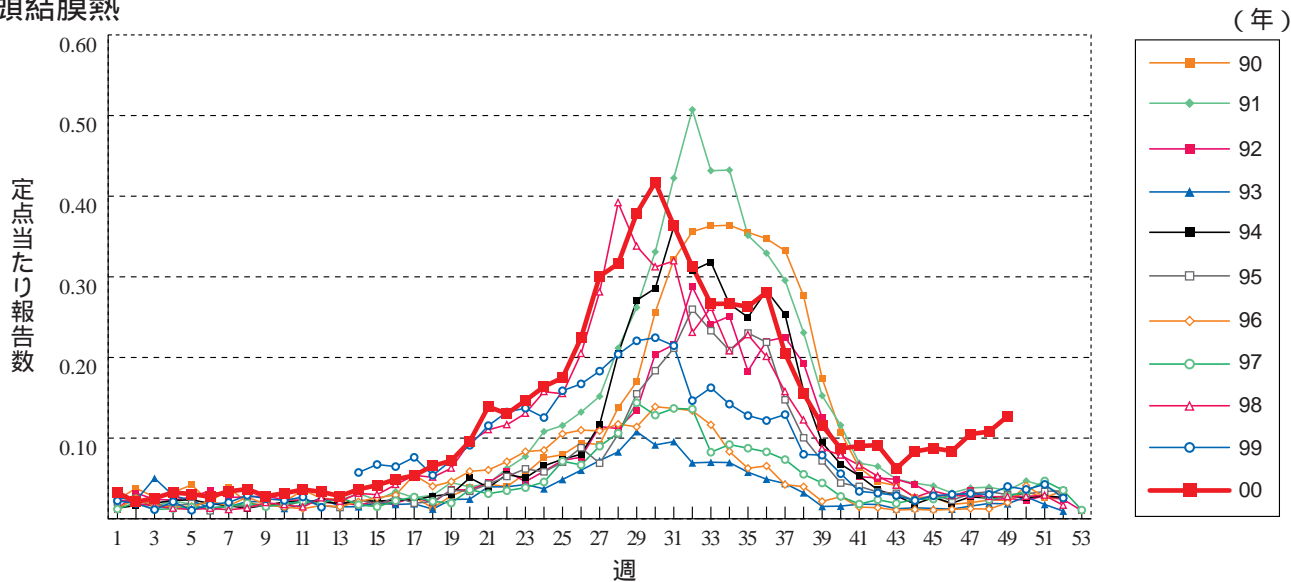
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(49週)

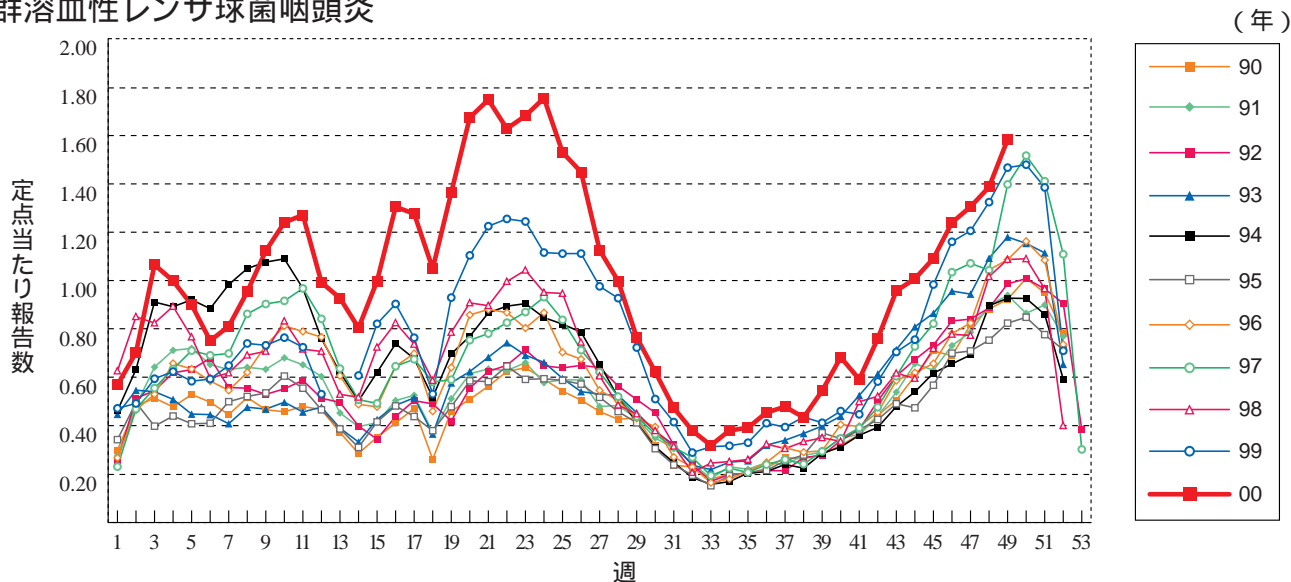
インフルエンザ



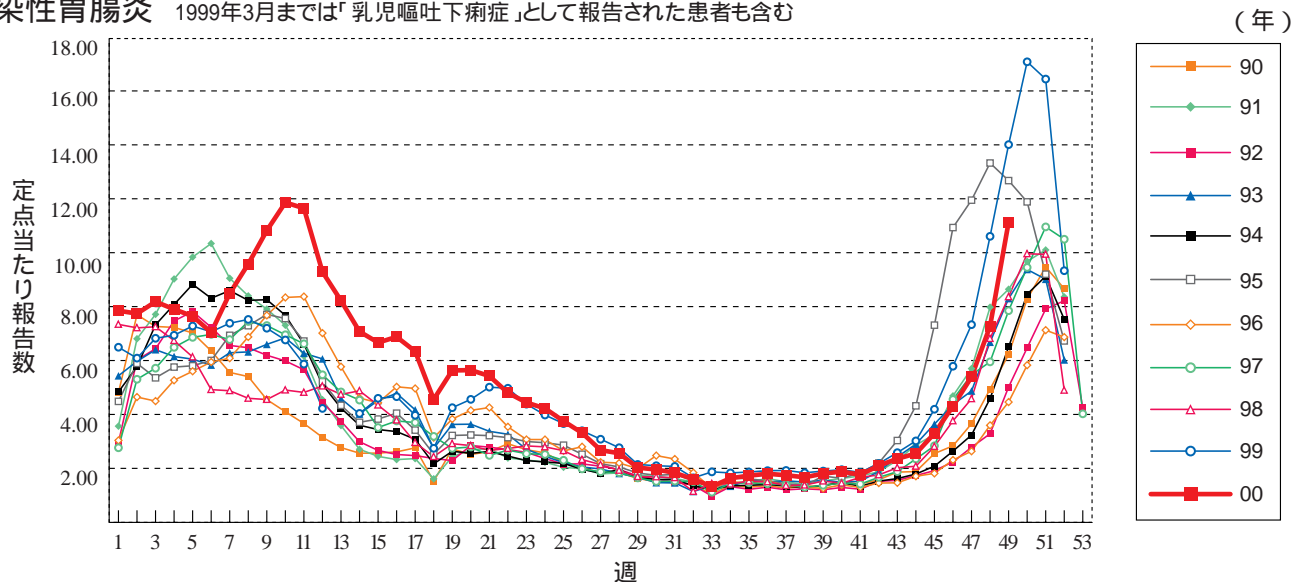
咽頭結膜熱



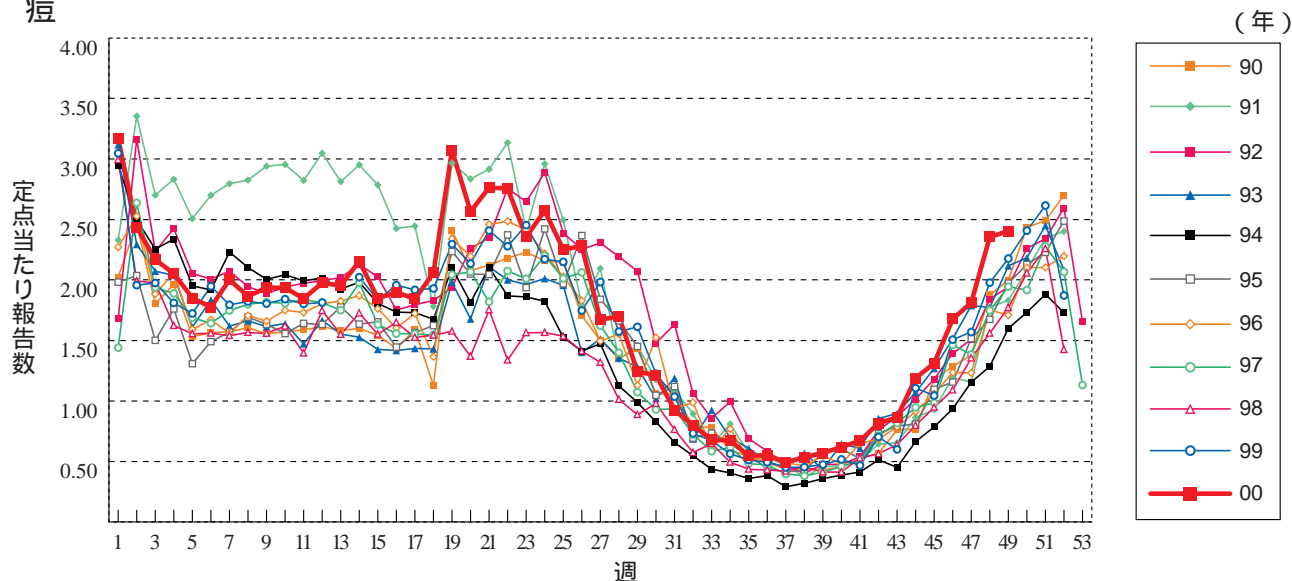
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



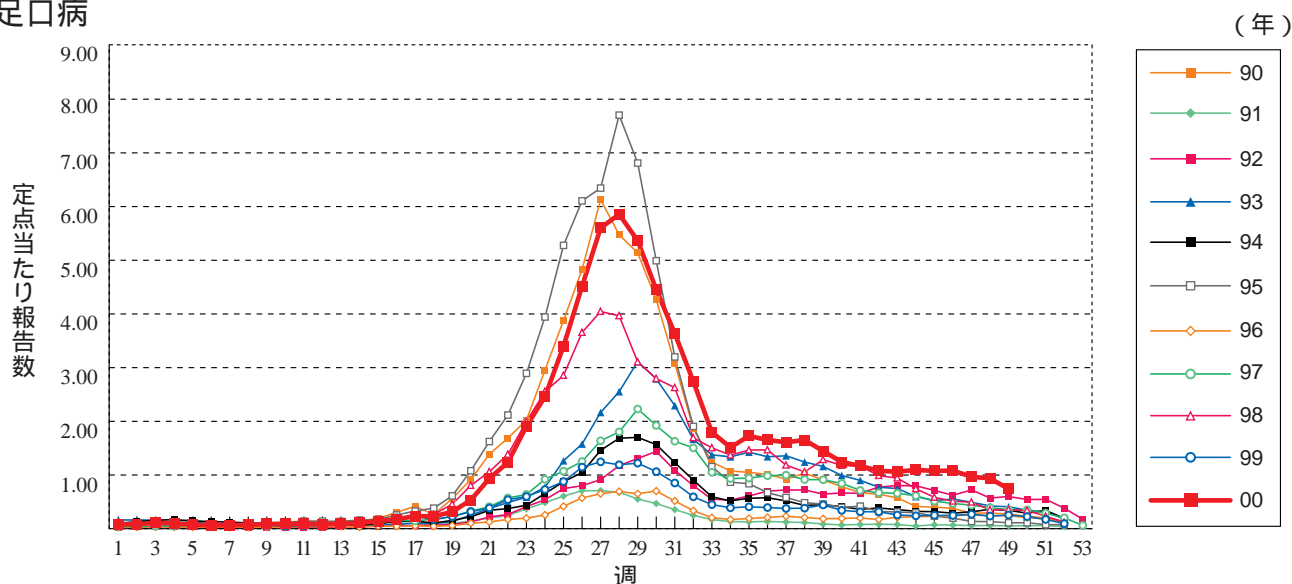
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



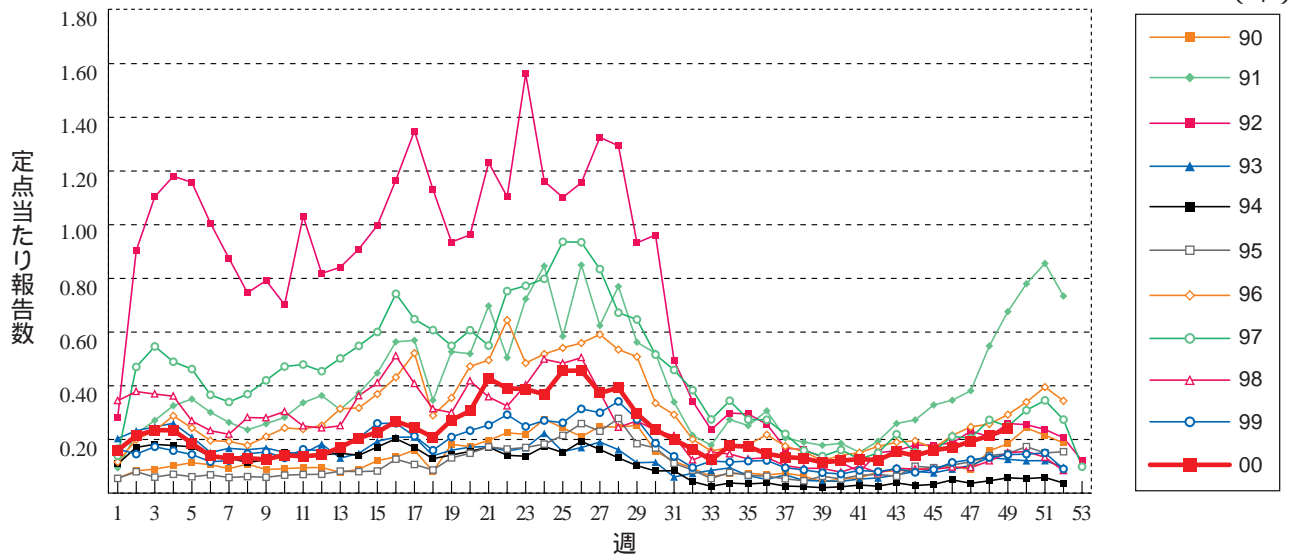
水痘



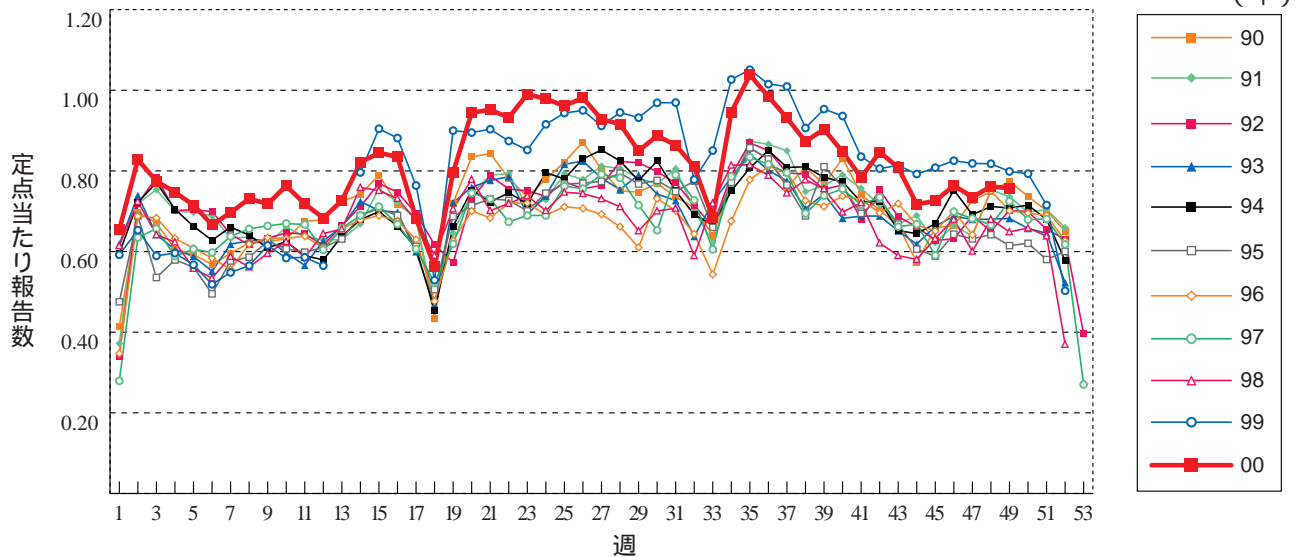
手足口病



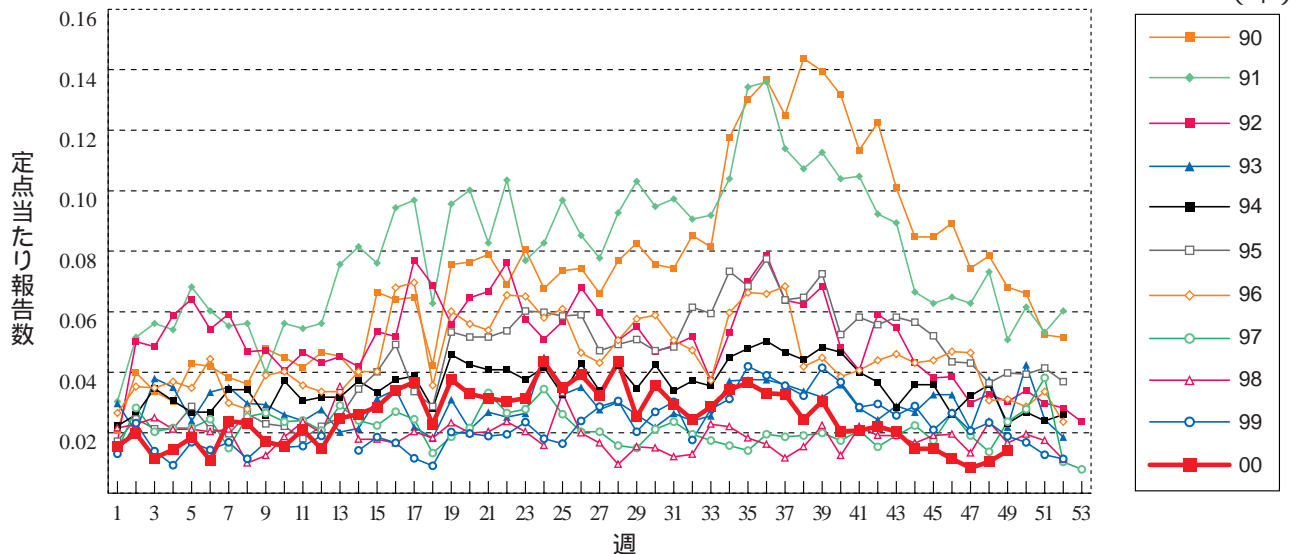
伝染性紅斑



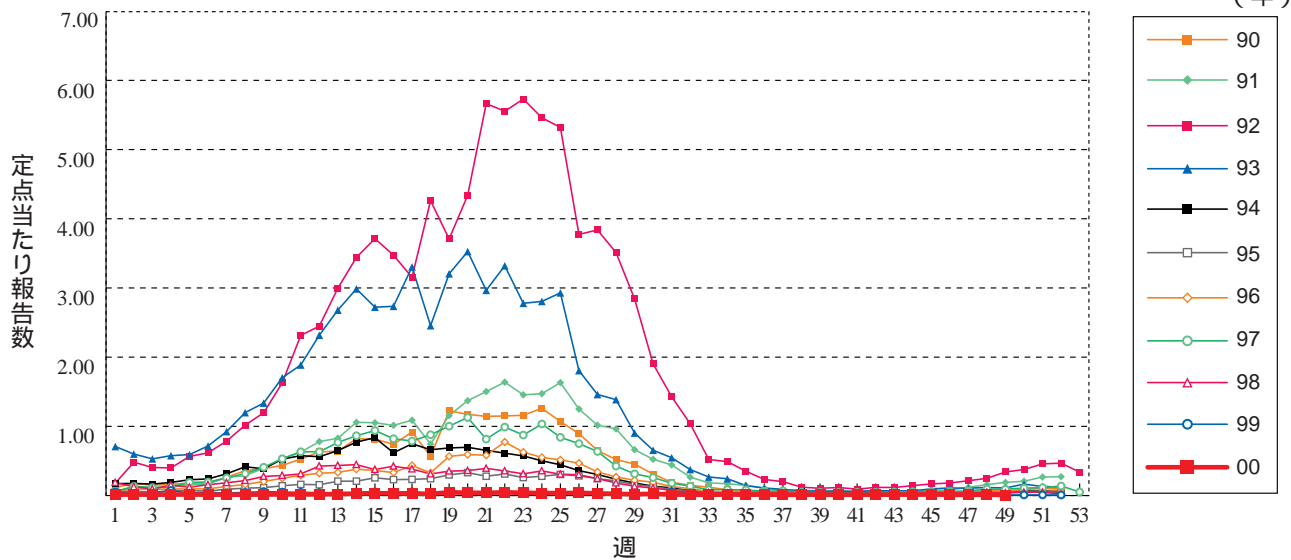
突発性発疹



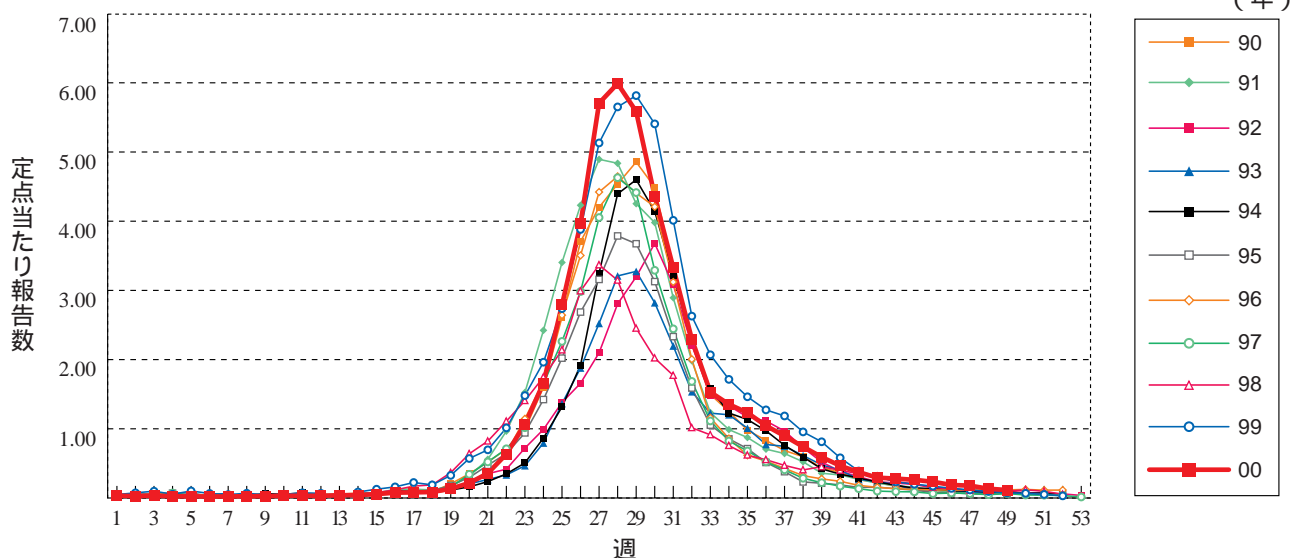
百日咳



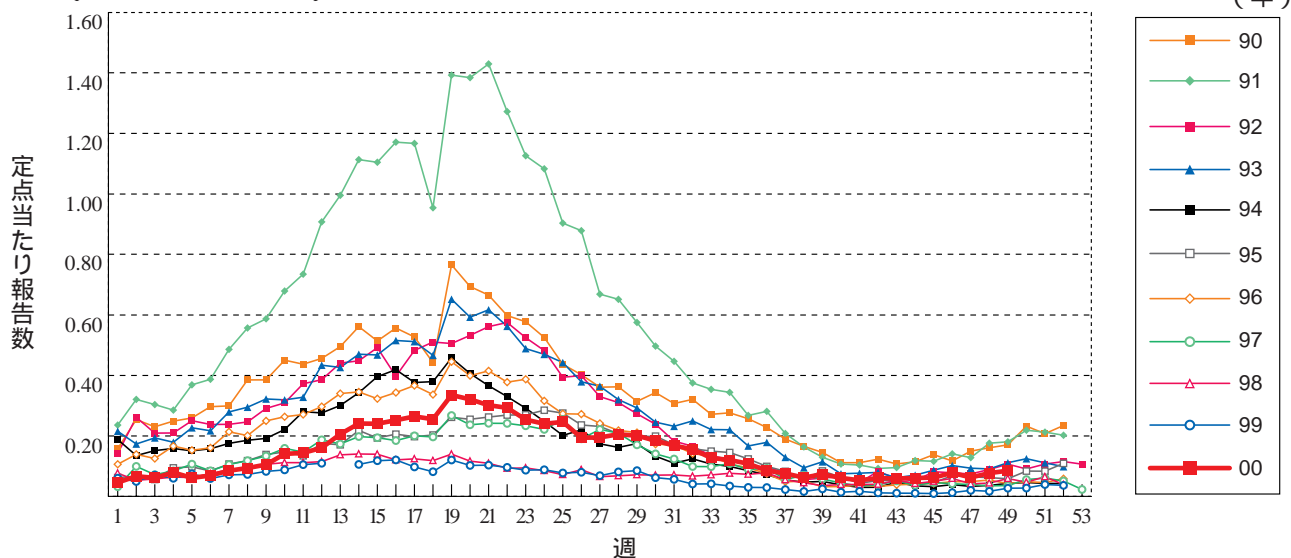
風 疹



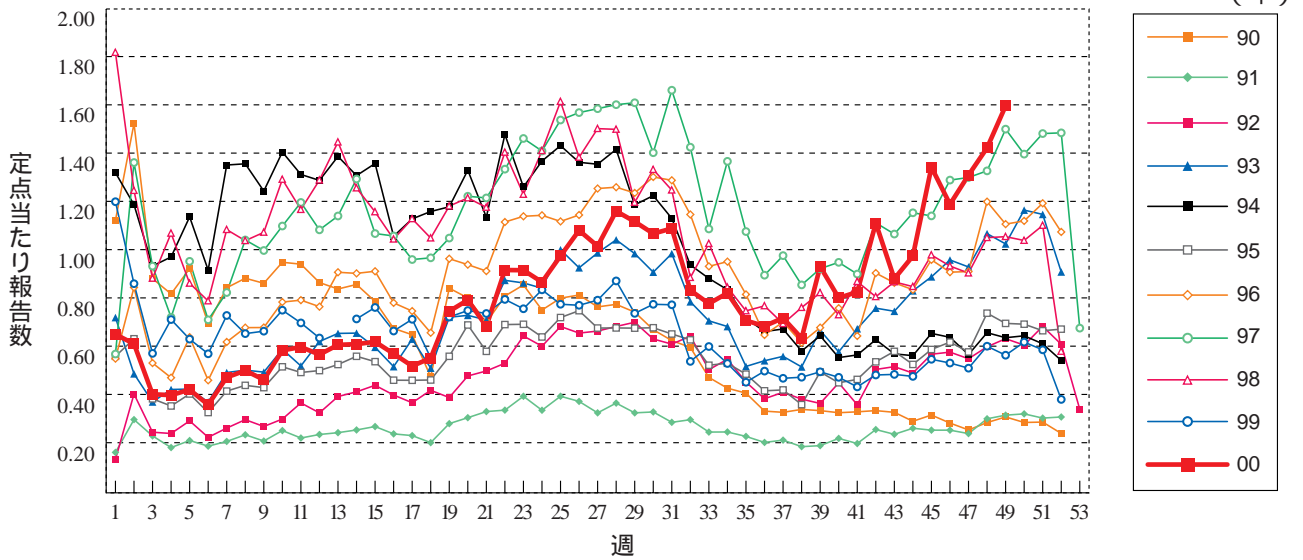
ヘルパンギーナ



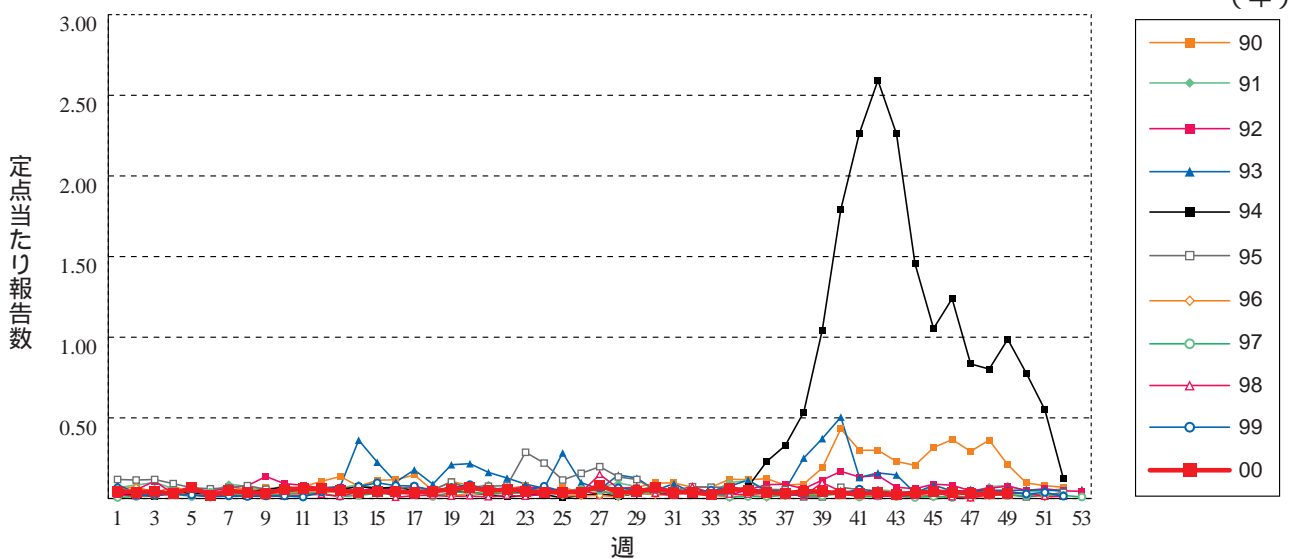
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



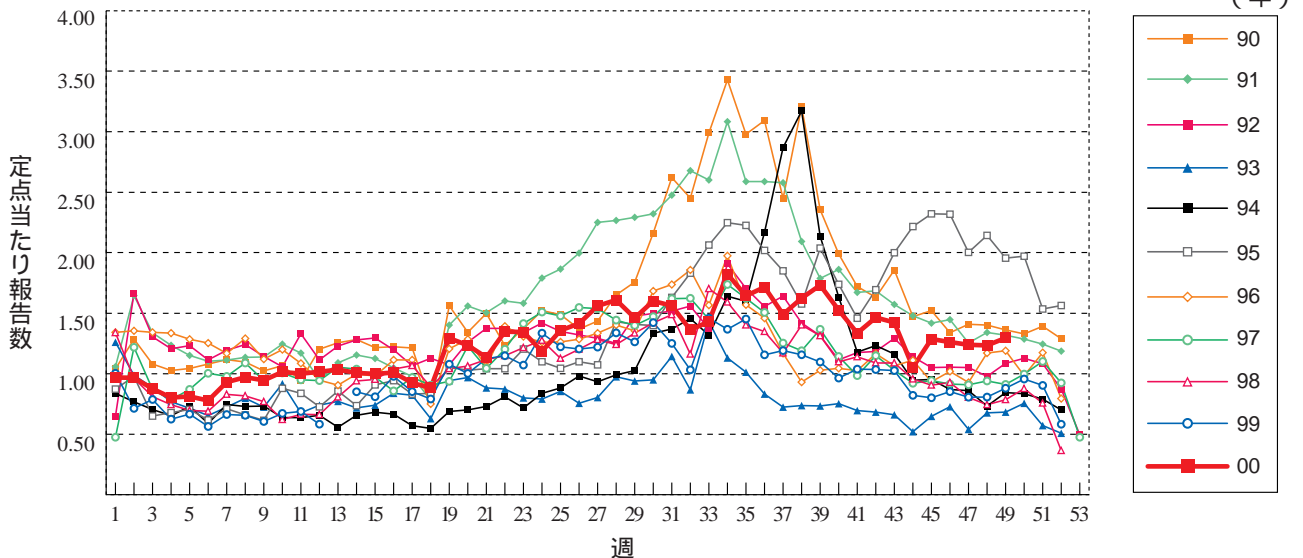
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

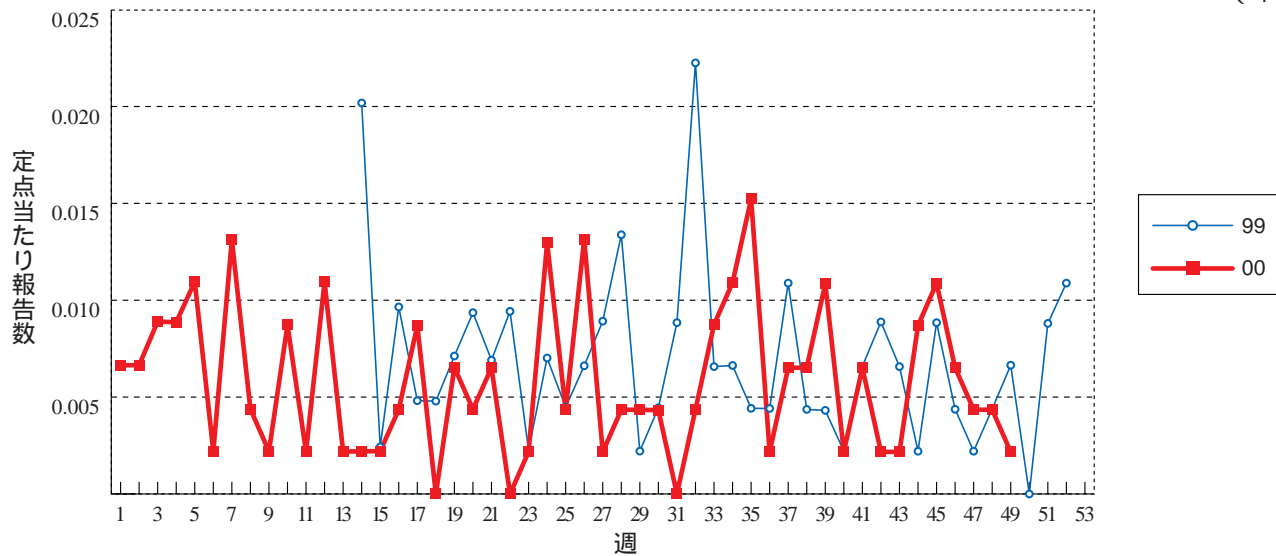


流行性角結膜炎



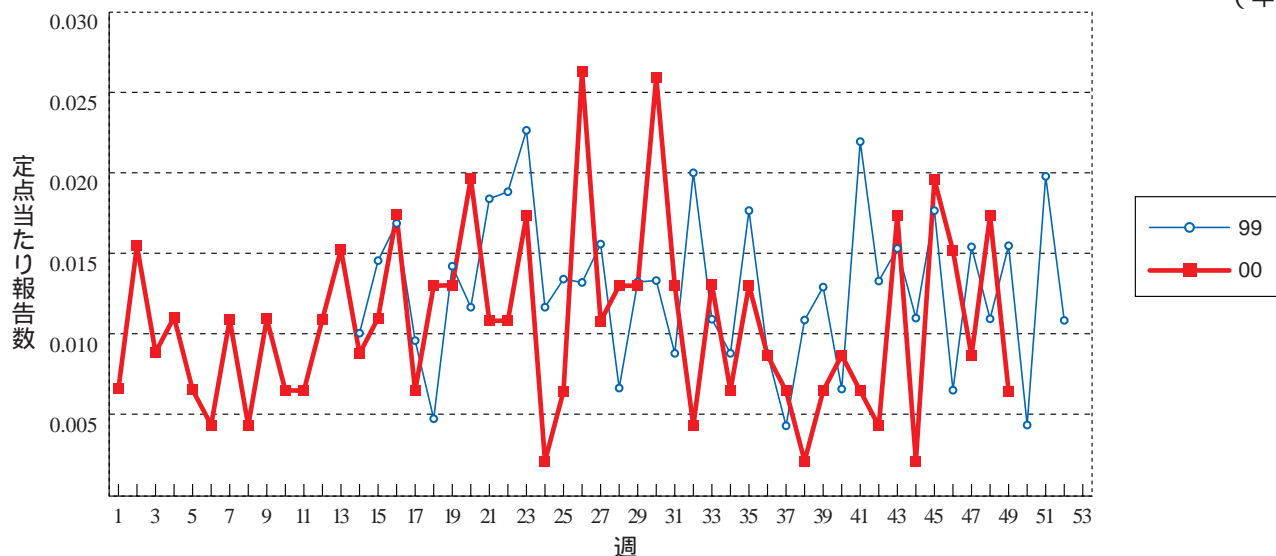
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



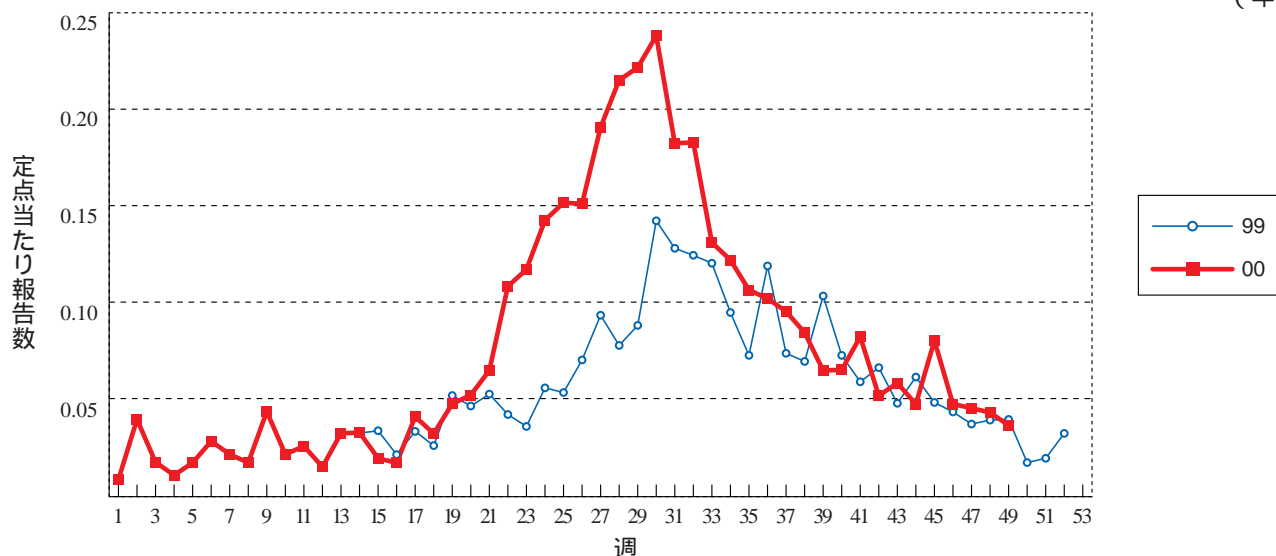
細菌性髄膜炎

(年)



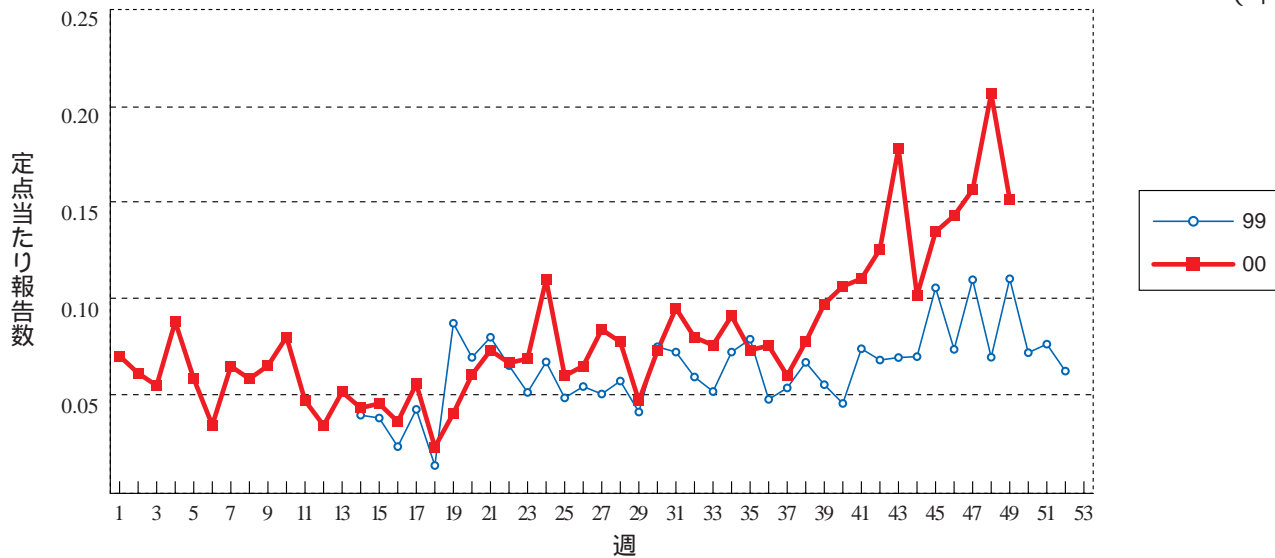
無菌性髄膜炎

(年)



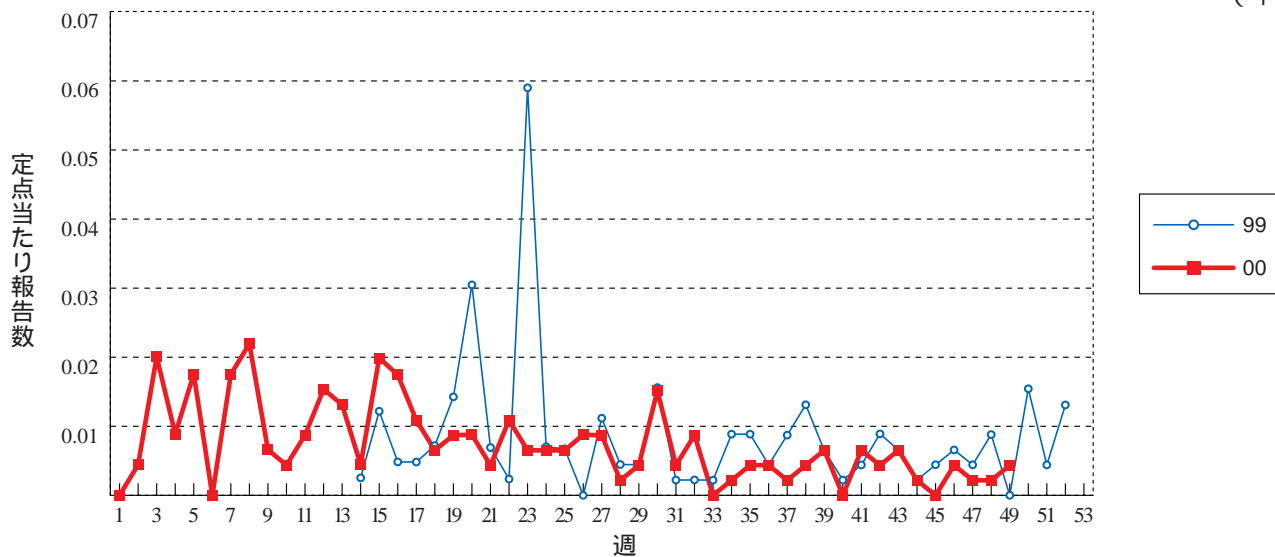
マイコプラズマ肺炎

(年)



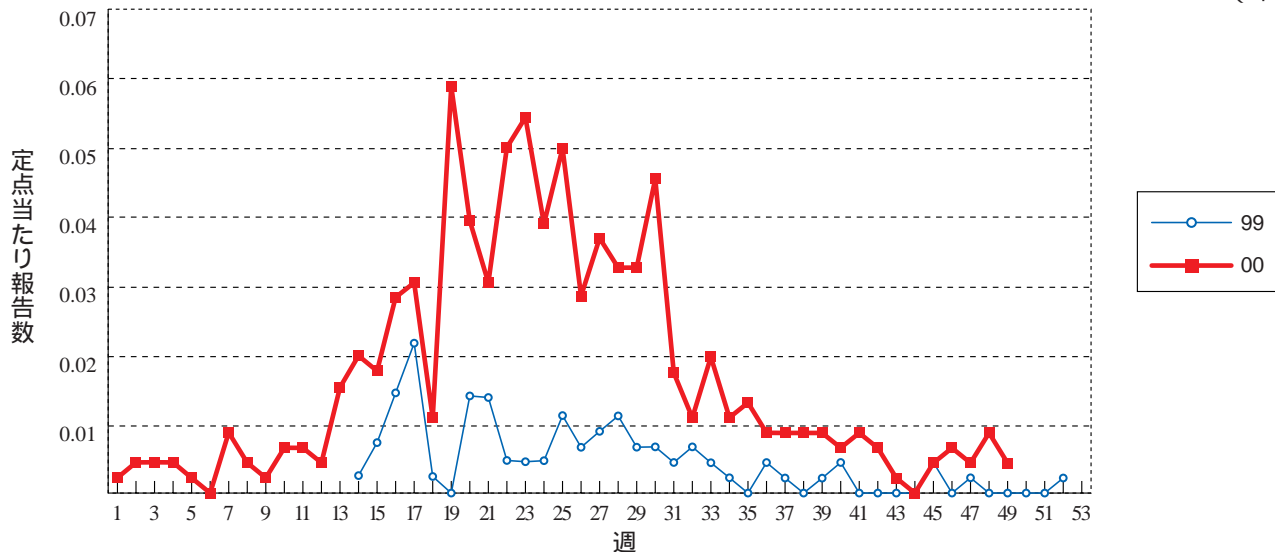
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





49週のデータ

注)表中の報告数は12月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年49週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	12	794	-	80	-	19	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	25	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	28	-	4	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	136	-	15	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	59	-	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	27	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	44	-	7	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	22	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	64	-	8	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	30	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	43	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	37	3488	3	337	-	20	-	-	-	18	-	-	2	923
北海道	-	-	-	-	1	100	-	6	-	19	-	-	-	-	-	-	-	15
青森県	-	-	-	-	2	44	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	1	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	56	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	2	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	1	21	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	-	94	1	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	4	141	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	6	300	1	81	-	-	-	-	-	4	-	-	1	95
神奈川県	-	-	-	-	1	159	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	1	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
長野県	-	-	-	-	-	36	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
静岡県	-	-	-	-	1	55	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
愛知県	-	-	-	-	-	228	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	-	49	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
大阪府	-	-	-	-	3	340	-	50	-	-	-	-	-	1	-	-	-	97
兵庫県	-	-	-	-	1	184	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
和歌山県	-	-	-	-	2	41	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	94	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	1	115	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	21
山口県	-	-	-	-	-	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	5	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	1	314	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
佐賀県	-	-	-	-	1	53	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	55	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	1	47	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	2	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
沖縄県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	19	-	-	-	3	2	94	-	43	6	711	-	1	-	85	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	33	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	54	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	12	-	7	5	292	-	1	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	39	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	4	-	2	-	22	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	3	-	24	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	4	-	2	-	46	-	-	-	12	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	13	-	1	-	-	20	570	-	18	-	36	-	7	-	-	6	693
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	3	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	2	37	-	-	-	9	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	1	13	-	12	-	-	-	-	-	-	-	109
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	16	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	41
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	2	34
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	57
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	-	1	36	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	11	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	1	58	-	-	-	3	-	-	-	-	-	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	85	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	148	-	11	8	143
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	10	1	1
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	28
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	4
東京都	-	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	2	10
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	29
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	1	5
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1048	0.23	380	0.13	4732	1.58	33389	11.17	7189	2.40	2210	0.74	716	0.24	2264	0.76	42	0.01
北海道	17	0.07	19	0.13	309	2.13	658	4.54	469	3.23	23	0.16	78	0.54	68	0.47	2	0.01
青森県	-	-	-	-	35	0.85	226	5.51	189	4.61	30	0.73	4	0.10	20	0.49	-	-
岩手県	7	0.11	-	-	51	1.34	288	7.58	122	3.21	29	0.76	25	0.66	16	0.42	-	-
宮城県	21	0.22	1	0.02	150	2.54	1232	20.88	187	3.17	109	1.85	34	0.58	47	0.80	1	0.02
秋田県	3	0.05	2	0.06	66	1.89	284	8.11	112	3.20	16	0.46	2	0.06	27	0.77	1	0.03
山形県	10	0.21	1	0.03	78	2.60	644	21.47	201	6.70	25	0.83	19	0.63	32	1.07	-	-
福島県	-	-	-	-	37	0.77	546	11.38	141	2.94	69	1.44	19	0.40	35	0.73	-	-
茨城県	19	0.17	2	0.03	96	1.33	557	7.74	148	2.06	18	0.25	7	0.10	29	0.40	-	-
栃木県	5	0.07	5	0.11	170	3.78	309	6.87	85	1.89	52	1.16	3	0.07	34	0.76	-	-
群馬県	23	0.23	10	0.16	104	1.68	760	12.26	149	2.40	5	0.08	17	0.27	31	0.50	1	0.02
埼玉県	232	0.91	14	0.09	389	2.45	2249	14.14	393	2.47	79	0.50	63	0.40	136	0.86	6	0.04
千葉県	40	0.20	9	0.07	256	1.92	1189	8.94	298	2.24	160	1.20	71	0.53	107	0.80	-	-
東京都	29	0.16	12	0.08	78	0.55	1243	8.75	189	1.33	48	0.34	53	0.37	69	0.49	2	0.01
神奈川県	72	0.23	28	0.14	244	1.20	2426	11.89	466	2.28	65	0.32	55	0.27	206	1.01	1	0.00
新潟県	17	0.17	22	0.37	200	3.33	743	12.38	281	4.68	44	0.73	10	0.17	61	1.02	-	-
富山県	4	0.08	2	0.07	64	2.21	483	16.66	84	2.90	37	1.28	-	-	32	1.10	-	-
石川県	4	0.08	8	0.28	31	1.07	444	15.31	58	2.00	48	1.66	9	0.31	32	1.10	3	0.10
福井県	-	-	4	0.18	30	1.36	279	12.68	68	3.09	43	1.95	5	0.23	24	1.09	-	-
山梨県	15	0.37	-	-	30	1.20	88	3.52	40	1.60	33	1.32	1	0.04	5	0.20	-	-
長野県	33	0.40	18	0.35	133	2.56	491	9.44	220	4.23	25	0.48	5	0.10	46	0.88	-	-
岐阜県	36	0.43	2	0.04	50	0.94	285	5.38	123	2.32	91	1.72	9	0.17	32	0.60	1	0.02
静岡県	51	0.37	40	0.47	130	1.51	990	11.51	179	2.08	126	1.47	20	0.23	78	0.91	2	0.02
愛知県	43	0.22	9	0.05	305	1.68	1732	9.52	466	2.56	270	1.48	42	0.23	128	0.70	3	0.02
三重県	10	0.15	-	-	61	1.36	639	14.20	113	2.51	33	0.73	4	0.09	42	0.93	-	-
滋賀県	3	0.07	-	-	49	1.58	231	7.45	40	1.29	10	0.32	2	0.06	20	0.65	-	-
京都府	55	0.44	2	0.03	54	0.71	1149	15.12	127	1.67	31	0.41	10	0.13	39	0.51	1	0.01
大阪府	94	0.35	33	0.18	197	1.05	1895	10.13	271	1.45	49	0.26	16	0.09	126	0.67	4	0.02
兵庫県	37	0.19	19	0.15	164	1.29	2005	15.79	299	2.35	58	0.46	19	0.15	97	0.76	3	0.02
奈良県	20	0.36	1	0.03	41	1.17	268	7.66	80	2.29	15	0.43	1	0.03	21	0.60	1	0.03
和歌山県	11	0.22	4	0.13	48	1.55	335	10.81	89	2.87	10	0.32	-	-	30	0.97	-	-
鳥取県	2	0.07	14	0.74	123	6.47	353	18.58	48	2.53	26	1.37	1	0.05	15	0.79	-	-
島根県	1	0.03	3	0.13	16	0.70	120	5.22	76	3.30	12	0.52	2	0.09	5	0.22	-	-
岡山県	5	0.06	19	0.35	105	1.94	423	7.83	98	1.81	27	0.50	5	0.09	47	0.87	-	-
広島県	10	0.09	7	0.09	112	1.49	844	11.25	161	2.15	38	0.51	7	0.09	50	0.67	3	0.04
山口県	-	-	15	0.31	110	2.24	1038	21.18	114	2.33	74	1.51	5	0.10	69	1.41	-	-
徳島県	7	0.18	-	-	26	1.13	150	6.52	47	2.04	18	0.78	-	-	10	0.43	-	-
香川県	4	0.08	5	0.16	27	0.84	219	6.84	27	0.84	37	1.16	5	0.16	38	1.19	-	-
愛媛県	1	0.02	2	0.05	61	1.56	441	11.31	114	2.92	25	0.64	7	0.18	44	1.13	1	0.03
高知県	4	0.08	1	0.03	73	2.35	167	5.39	41	1.32	21	0.68	1	0.03	18	0.58	-	-
福岡県	32	0.20	3	0.04	96	1.22	1843	23.33	173	2.19	37	0.47	28	0.35	60	0.76	5	0.06
佐賀県	3	0.08	1	0.04	24	1.04	301	13.09	51	2.22	17	0.74	9	0.39	23	1.00	-	-
長崎県	1	0.01	-	-	30	0.68	402	9.14	84	1.91	34	0.77	3	0.07	23	0.52	1	0.02
熊本県	15	0.19	26	0.53	58	1.18	742	15.14	144	2.94	60	1.22	18	0.37	47	0.96	-	-
大分県	5	0.09	-	-	76	2.11	620	17.22	93	2.58	18	0.50	7	0.19	50	1.39	-	-
宮崎県	-	-	13	0.35	72	1.95	497	13.43	108	2.92	38	1.03	12	0.32	41	1.11	-	-
鹿児島県	34	0.35	4	0.07	57	0.95	533	8.88	81	1.35	12	0.20	2	0.03	42	0.70	-	-
沖縄県	13	0.22	-	-	16	0.47	28	0.82	42	1.24	65	1.91	1	0.03	12	0.35	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年49週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	22	0.01	346	0.12	254	0.08	4782	1.60	21	0.03	811	1.30	1	0.00	3	0.01	17	0.04
北海道	-	-	1	0.01	42	0.29	319	2.20	-	-	45	1.55	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	3	0.07	69	1.68	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	2	0.05	1	0.03	17	0.45	6	0.50	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	5	0.08	9	0.15	18	0.31	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	7	0.20	1	0.14	8	1.14	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	1	0.03	-	-	48	1.60	-	-	12	1.50	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	3	0.06	19	0.40	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	2	0.03	-	-	98	1.36	1	0.06	49	3.06	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	-	-	23	0.51	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	-	-	97	1.56	-	-	41	2.93	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	11	0.07	10	0.06	600	3.77	-	-	26	0.72	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	4	0.03	4	0.03	302	2.27	1	0.03	80	2.42	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	6	0.04	4	0.03	181	1.27	-	-	24	1.71	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	2	0.01	5	0.02	24	0.12	451	2.21	-	-	64	1.52	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	211	3.52	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	1	0.08
富山県	1	0.03	5	0.17	-	-	7	0.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	10	0.34	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	2	0.09	1	0.05	72	3.27	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	3	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	-	-	39	0.75	2	0.20	16	1.60	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	3	0.06	-	-	52	0.98	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	13	0.15	1	0.01	241	2.80	-	-	20	1.00	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	17	0.09	11	0.06	230	1.26	2	0.06	12	0.34	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	14	0.31	1	0.02	123	2.73	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	0.10	-	-	38	1.23	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	3	0.04	1	0.01	83	1.09	-	-	21	1.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	55	0.29	19	0.10	247	1.32	-	-	27	0.54	-	-	-	-	1	0.13
兵庫県	-	-	8	0.06	-	-	158	1.24	-	-	42	1.20	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	14	0.40	32	0.91	44	1.26	-	-	13	1.44	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	9	0.29	-	-	11	0.35	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	35	1.84	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.04	-	-	2	0.09	69	3.00	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.06	5	0.09	-	-	21	0.39	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	3	0.04	4	0.05	93	1.24	-	-	25	1.25	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	9	0.18	4	0.08	141	2.88	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	6	0.26	-	-	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	8	0.25	1	0.03	30	0.94	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	34	0.87	-	-	18	0.46	1	0.14	14	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	14	0.45	33	1.06	38	1.23	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	12	0.15	12	0.15	145	1.84	-	-	43	2.39	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	52	2.26	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	-	-	26	0.59	3	0.38	28	3.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	12	0.24	3	0.06	177	3.61	-	-	31	3.44	1	0.07	1	0.07	2	0.13
大分県	1	0.03	19	0.53	3	0.08	57	1.58	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	11	0.30	-	-	17	0.46	1	0.25	16	4.00	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	6	0.10	13	0.22	21	0.35	1	0.17	13	2.17	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	4	0.12	12	0.35	15	0.44	-	-	17	1.70	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年49週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	70	0.15	2	0.00	2	0.00
北海道	5	0.22	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	6	0.30	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	-	-	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	4	0.67	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.29	-	-	-	-
山口県	1	0.13	2	0.25	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	6	1.00	-	-	-	-
高知県	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.25	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第49号 平成12年12月25日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。